

旅行取扱状況の概観（令和元年11月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト北海道、近畿日本ツーリスト東北、近畿日本ツーリスト関東、近畿日本ツーリスト首都圏、近畿日本ツーリスト中部、近畿日本ツーリスト関西、近畿日本ツーリスト中国四国、近畿日本ツーリスト九州、近畿日本ツーリストコーポレートビジネス、KNT-CT グローバルトラベル、KNT-CT ウェブトラベル、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱いは、一般団体は前年比 109.2%と前年を上回り、学生団体は同 96.9%と前年を下回り、団体旅行合計で同 103.2%と前年を上回った。企画旅行については前年比 94.2%と前年を下回り、個人旅行については同 100.2%と前年を上回った。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比 98.8%と前年を下回った。

国内旅行の取り扱いは、一般団体は前年比 93.4%と前年を下回ったが、学生団体は同 105.4%と前年を上回り、団体旅行合計で同 100.3%と前年を上回った。企画旅行については前年比 88.7%と前年を下回り、個人旅行については同 83.9%と前年を下回った。この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比 91.7%と前年を下回った。

外国人旅行は、前年比 163.8%と前年を上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の 11 月の総取扱額は前年比 97.0%となり、前年を下回った

【区分別の状況】

1. 海外旅行

海外団体については、一般団体は、趣味・テーマ型の旅行や職場旅行・親睦旅行などの取扱人数の増加により前年比 109.2%と前年を上回った。学生団体は、研修旅行などの取扱人数が増加した一方で、修学旅行の取扱人数が減少したことにより、同 96.9%と前年を下回った。この結果、海外団体旅行合計で前年比 103.2%と前年を上回った。

海外企画旅行については、前年比 94.2%と前年を下回った。商品別では、ホリデイは方面別取扱人数の状況で、ハワイやヨーロッパ、台湾方面が好調に推移したが、アメリカやオセアニア方面、アジア方面では香港や韓国の不調が続いている。クラブツーリズムは、ヨーロッパでは南欧（イタリア）、東地中海（トルコ）、ロシア・バルト三国が堅調に推移した。北米、オセアニアも堅調に推移している。一方で、カナダ、中国、アジア（香港、韓国）、東南アジア（タイ、ベトナム、カンボジア）は不調が続くこととなった。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比 98.8%と前年を下回った。

2. 外国人旅行

外国人旅行は、大型の国際スポーツ大会や国際会議・学会などの取扱が増加したことにより、前年比 163.8%と前年を大きく上回った。

3. 国内旅行

国内団体については、一般団体は、展示会などの取扱人数が増加した一方で、職場旅行や観光・親睦旅行などが減少したことにより、前年比 93.4%と前年を下回った。学生団体は、遠足などの校外学習などの取扱人数が減少したが、修学旅行の取扱が増加したことにより、同 105.4%と前年を上回った。この結果、国内団体旅行合計で前年比 100.3%と前年を上回った。

国内企画旅行については、前年比 88.7%と前年を下回った。商品別では、メイトは方面別取扱人数の状況において、台風 19 号以降低調である北陸を中心に不調であった。クラブツーリズムは、方面別では、北海道（道東）は堅調に推移することとなったが、東日本方面（東北、関東、甲信越）は台風 19 号による取消とその後の需要減退の影響が大きく苦戦が続くこととなった。また北陸、関西、山陰・山陽、四国、九州、沖縄、離島においても不調であった。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比 91.7%と前年を下回った。